

市長・市議会議長から 新年のごあいさつ



竹原市長
今 榮 敏彦

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

令和の御代を迎えました昨年、全国各地で自然災害による被害が相次いだ1年となりました。平成30年7月豪雨災害から1年半が経過し、本市におきましては、竹原市復旧復興プランに基づき、一日も早い復旧・復興に向けた歩みを、一步、一步着実に進めています。今後も引き続き、全力で取り組んでまいりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年5月、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に認定されました。先人が築き、皆様がこれまで大切に守ってきた町並み保存地区をはじめとした本市が誇るべき文化財が、改めて評価

されたものであり、これまでの皆様の並々ならぬご尽力の賜物であります。皆様に敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

この認定に呼応するように、町並み保存地区では、空き家を活用した宿泊施設のオープン、大手航空会社のCMロケ地に選ばれたほか、竹原港と大久野島をつなぐ新たな航路が就航するなど、うれしいニュースがたくさん舞い込んできました。

本年は、せとうち広島デステイネーションキャンペーンが開催されます。今、竹原に吹き込む良い風をしつかりと掴み、賑わいづくりにつなげ、『元氣な竹原市』の実現に向け全力で取り組んでまいります。

本年も引き続き、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



竹原市議会議長
大 川 弘 雄

謹んで新年のご祝辞を申し上げます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃より議会に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成30年7月豪雨災害による被災の爪跡は未だに市内各地に影を落としており、市議会といたしましても、一日も早い復旧・復興を最優先課題と捉え、市長と共に全力で臨んでまいれる所存であります。

こうした中、本市議会において体制を見直し、議会だより編集委員会を広報広聴委員会に改めました。今後より一層、市民の皆様の声を市政に反映し、また、その成果を見える形で発信するべく取り

組んでまいります。

昨年は厳しい環境の中での一年でありましたが、一方で、日本遺産の認定をはじめ、町並み保存地区内の宿泊施設の開業や、大久野島への新たな航路の就航など、明るいニュースの多い一年でもありました。

多くの方々のお力添えにより守り継がれてきた世界に誇れる資源を活用し、竹原の魅力を広げ発信することで、観光客をはじめとする交流人口の拡大を目指すとともに、アイデアに満ち溢れた町づくりに向け、市民の皆様と一緒に頑張ってまいります。

今後とも、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

特集

タケハラジエンヌに

喝采を!

Season2
Vol.3



神田香奈子さんのプロフィール

福岡県出身。上京し東京で出会った夫と結婚後、夫が家族で経営されていた「京果園 神田」を手伝うため、竹原に移住。1児の母。年に一度はオランダ人のアドバイザーに来てもらい講習を受けるなど、バラの栽培について研究熱心。「京果園 神田」で栽培されるバラは、県外のお花屋さんから研修依頼があるほど、高い評価を受けています。

竹原の「ここ」が魅力!

海も山も手の届く範囲にあって
「子育て」にもすごく魅力的な街

海もあって、山もあるという環境がすごくいいなと思っています。そこで育まれる海の幸も山の幸も美味しいですし、遊びに関しても、海でも遊べるし、山でも遊べて、それぞれが自分の住んでいるところから、15分圏内で行けるとするのは、大人にとっても子育てをするにも、すごく魅力的だと思います。

ご結婚後、竹原に移住をされ、現在は「京果園 神田」として、ご夫婦でバラの栽培・出荷をされている神田香奈子さん取材させていただきました。元々は縁がなかった農業

私自身は大学時代文学部でしたし、元々はサラリーマン家庭に育っているのですが、農業というものに全然縁はなかったのですが、農家をやるってなったときには逆に面白いなと思っていました。

実家の母は家でお花を飾っているような人だったので、お花に関してはすごく興味がありました。ただ仕事となると、話は違います。難しいこともたくさんありますが、今大事にしていることは、お客様がお花を見て嬉しかったりする気持ちを、私たちが育てたバラで感じていただきたいと思います。

育てたバラが宣伝部長

お花は、結婚式だったりお葬式だったり、ポーズだったりお誕生日だったり、そういうセレモニーやみなさんの大事な時に寄り添うものだと思います。そのようなお花に携われるこの仕事に就けてすごく嬉しいですし、品質を保たなければいけないというプレッシャーもあります。

お花はお花屋さんでみなさんご購入いただくもので、私たちにとってはお花屋さんがお客さんになるんですね。なのでお花屋さんが、私たちが育てたお花を選んでいただくところから始まります。そこではお花を育てている人間がアピールするというよりは、育てたバラそのものが宣伝部長として、みなさんにいいなと思っていただけるのが、一番だとは思っています。

バラを育てる難しさと農業の可能性

バラを育てるといことは、毎年が違う環境の中で試行錯誤していくことなので、まだ納得できなかった一年はないです。虫と戦い、天気とも戦い、昨年は豪雨の影響で物流がストップしてしまったり。色々な環境の中で、納得のいく一年を過ごすことが今の目標です。

竹原は水が良くて気候も穏やかで、農業をするにはすごくいい場所だと思います。なのでバラだけではなく、もっと多くの農業が盛り上がっている場所だと感じていて、その一躍を担えるのであれば、一緒に盛り上げていきたいと思っています。 ※「神田バラ園」では、個人のお客様向けのバラの販売、バラ園内の見学はお断りしています。ご了承ください。